

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神看護実践論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	4 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年	学期及び曜時限	後期	教室名	新館2階3階
担当教員	松本 恵	実務経験と その関連資格			

《科目目標》

- 精神看護におけるケアの基本であるコミュニケーション技術を模擬実践およびプロセスレコードを通して習得する
- 精神の健康障害をもつ対象の回復を促す援助について、問題解決技法を用いて看護過程を展開することができる

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】課題10点/100点

【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

メディカ出版 ナーシンググラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実際

《授業外における学習方法》

授業以外での準備学習の具体的な内容を参照

《履修に当たっての留意点》

他の精神看護学の科目の学習内容を活用して看護過程を展開できる知識、技術を習得する。また、精神看護学概論で学習した人権擁護を復習し、精神障害をもつ対象への態度を習得する。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 演習形式	授業を通じての到達目標	診断の補助及び対象の支援のために行われる各種心理検査の目的と実際について理解する	精神障害と看護の実践P124～p132	教科書の該当ページに目を通して下さい。
	各コマにおける授業予定	・知能検査、発達検査 ・性格検査 ・神経心理学検査		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	面接援助技法について、主な精神療法の目的と実際について理解する	精神障害と看護の実践P150～p156	教科書の該当ページに目を通して下さい。
	各コマにおける授業予定	・面接援助技法 ・行動療法、認知行動療法 ・家族療法		
第3回 演習形式				
第4回 演習形式				
第 演 習 形 式				

5
回

首
形
式